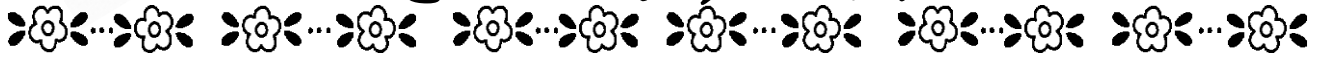


学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和6年4月8日

横浜市立三ツ境小学校

三ツ境小だより 4月号



「新しい出会い ご入学 ご進級おめでとう」

～感謝の気持ちを伝えられる子どもたちに～

校長 飯田 雅人

春の気配に導かれ、3月19日（火）に99名の卒業生が胸を張って巣立っていきました。在校生代表として、久しぶりに5年生も式に列席することができ、式の中で最上級生のバトンを立派に受け継いでいました。

そして春休み中に、校内の桜の木や花壇の花々が次々に開花し、三ツ境小にも本格的な春がやってきました。

三ツ境小学校は、新1年生94名を迎え、全校児童605名、25学級で令和6年度をスタートします。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

この春、子どもたちには多くの「新しい出会い」が待っています。「新しい学習内容」「新しいクラスの友達」「新しい担任の先生」「新しい教室」「新しい役割と責任」など、言わば「新しい出会いのシャワー」を浴びることになります。そこには、たくさんの期待感とともに、同じぐらい不安感もあることと思います。これは、大人とて同じです。「新しい出会い」が必ずしもすべて子ども自身や保護者の皆様の望む方向にいくとは限りません。しかしながらそうしたときにこそ、「子どもが自分なりに考え、判断し、行動していくこと」や「困ったときに、自分から大人にたずねて問題を解決していこうとする力」を育むチャンスでもあります。子どもたちがこれから成長していくうえで、とても大切な過程でもあります。この時期こそ、私たち教職員や保護者の皆様が連携をして、子どもたちの成長をていねいに見守っていききたいものです。

また、あいさつをコミュニケーションの第一歩と考え、今年度は、その中でも感謝の気持ちを表すことをより一層大切にしていきたいと考えています。「ありがとう」という言葉は、言う方も言われる方も温かくなる言葉だと思っています。誰かから何かしてもらってうれしい気持ちになったら「ありがとう」と相手に伝える。それが当たり前と感じていては、「ありがとう」の言葉はなかなか出てきません。また、相手のためにした行動に対して、その相手から「ありがとう」と返してもらえたらうれしく感じるし、「してよかったな。またしてあげようかな。」と思うことでしょうか。そういうところから、自尊感情や自己有用感が生まれていくのだと思います。本校の特色の一つであるペア学年での活動では、この関係をより一層重視していきたいと思っています。

保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただき、あいさつやありがとうの感謝の気持ちが自然と出てくるような、そんな三ツ境小の子どもたちを育てていきたいと思っています。令和6年度も、本校の教育活動に、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。